

平成16年2月期第1四半期業績の概況(個別)

平成15年7月1日

上場会社名 株式会社ダイセキ
(URL <http://www.daiseki.co.jp/>)

(コード番号9793 東証・名証第1部)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 伊藤 博之
責任者役職・氏名 代表取締役副社長 柱 秀貴

(TEL : (052) 611 - 6322)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

第1四半期の業績に関しましては、監査法人による監査を受けておりません。

なお、第1四半期業績につきましては、今回が初めての算出・公表となるため前年同期との業績比較はしておりません。また、連結業績につきましては、今回は算出しておりません。

2. 平成16年2月期第1四半期業績の概況(平成15年3月1日~平成15年5月31日)

(1) 経営成績

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成16年2月期第1四半期	4,008	(-)	660	(-)	653	(-)	305	(-)
平成15年2月期第1四半期	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
(参考)平成15年2月期	14,430		2,460		2,471		1,337	

(注) 四半期業績の開示は、当期より実施しておりますので、前年同四半期の実績の記載並びに比較は行っておりません。

(2) 業績の概況

当第1四半期におけるわが国経済は、デフレ不況というトンネルの出口も見えない状況で、引き続き厳しい状況で推移してまいりました。

当社を取り巻く環境も厳しい状況が続きましたが、本年3月から本格稼働を始めた関西事業所をはじめ、積極的に行ってまいりました設備投資による処理能力向上を背景とした新規顧客の獲得に注力することにより、売上の確保を図ってまいりました。これにより売上高は、4,008百万円となり、当初予想を上回って推移しております。

また、利益面は、新設の関西事業所の稼働コストが期首から発生したこと等により、営業利益率は16.4%(前年度通期実績17.0%)、経常利益率16.3%(前年度通期実績17.1%)と若干低下いたしました。金額ベースでは経常利益、営業利益、当期純利益とも、当初予想のとおり推移しております。

3.平成16年2月期の業績予想(平成15年3月1日~平成16年2月29日)

第2四半期の業績予想に関しましては、外部環境の好転は望めないものの、特に大きく業績予想と乖離する状況にはなく、ほぼ計画線上で推移するものと思われます。したがって、中間期ならびに通期の予想(個別)は、下記のとおり(平成15年4月23日発表のとおり)予定しております。

平成16年2月期の業績予想(個別)(平成15年3月1日~平成16年2月29日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	7,967	1,333	693
通期	15,927	2,705	1,466

(参考)1株当り予想当期純利益(通期) 63円97銭

(ご参考)平成16年2月期の業績予想(連結)(平成15年3月1日~平成16年2月29日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	8,581	1,343	756
通期	17,319	2,773	1,561

(参考)1株当り予想当期純利益(通期) 68円24銭

以上